安平町 発災後1年の歩み

【平成30（2018）年】

9月6日
- 3時7分、胆振地方中東部でマグニチュード6・7の地震が発生（震度6強）
- 道内全域（約295万戸）が停電
- 3時40分、安平町災害対策本部を設置。第3次非常配備
- 避難所開設
- 東早来地区で災害負傷者2名を救急搬送
- 陸上自衛隊リエゾンオフィサー（LO）が到着。以降、国土交通省TEC-FORCEをはじめ様々な関係機関等から応援派遣を受ける
- 町内全域で断水が発生
- 6時11分、地震発生（震度4　マグニチュード5・4）
- 6時45分、早来北進地区の一部に避難指示発令（1回目）。10月2日から縮小開始、翌年11月22日に完全解除
- 防災無線による避難呼びかけ一斉放送を実施
- 飲料水が到着。以降、全国各地から支援物資が届く
- 苫小牧保健所保健師による支援が始まる。以降、9月10日に北海道、青森県、船橋市、柏市の保健師およびDMAT、9月13日に北海道看護協会災害支援ナース、9月14日に茨城県、川口市の保健師による応援派遣を受ける
- はだしの広場を臨時ヘリポートとして開放
- 総合支所をはじめ追分地区の通電情報を確認
- 消防安平支署が厚真支援活動を開始
- 14時30分、災害救助法適用
- 対策本部会議を開催（28日まで）
- 17時30分、気象庁が「平成30年北海道胆振東部地震」と命名
- 給水車等による給水支援が開始される（10月1日まで）

はだしの広場臨時ヘリポート

9月7日
- 10時10分、早来北進地区の一部に避難指示発令（2回目）（10月2日に解除）
- 橋本聖子参議院議員が視察来町
- 14時00分、早来北進地区の一部（2回目）の避難指示区域拡大（翌年3月4日に解除）
- 15時00分、東早来地区の一部に避難勧告発令（9月13日に解除）、早来新栄地区の一部に避難勧告発令（9月13日に解除）、早来富岡地区の一部に避難勧告発令（9月13日に解除）、早来栄町地区の一部に避難勧告発令（9月8日に解除）、追分緑が丘の一部に避難勧告発令（9月20日から縮小開始、翌年3月4日に完全解除）
- 17時15分、早来大町地区の一部に避難指示発令（9月16日に解除）
- 18時42分、追分柏が丘地区の一部に避難指示発令（1回目）（12月17日縮小開始、翌々年2月13日に完全解除）
- 19時45分、追分柏が丘地区の一部に避難指示発令（2回目）（10月2日に解除）
- 20時00分、早来瑞穂地区の一部に避難指示発令（9月14日に解除）
- ごみステーションでのごみ収集が再開
- 避難所7カ所、避難者数718人

避難所（早来町民センター）〔北海道新聞社提供〕

9月8日
- はやきた子ども園が再開。翌々日、おいわけ子ども園が再開
- 動画配信サービスによる町民メッセージを配信
- 安平町災害ボランティアセンターが設置される

三笠市による給水支援〔北海道新聞社提供〕

- 自衛隊の入浴支援が開始される（10月4日まで。10月5日、陸上自衛隊入浴支援部隊修了式が開催される）
- 総合支所の断水が復旧（翌日、総合庁舎の断水が復旧）
- 避難所7カ所、避難者数540人

9月9日
- 9時40分、追分緑が丘の一部に避難指示発令（9月20日に解除）。11時54分、追分本町地区の一部に避難指示発令（9月26日に解除）。13時47分、追分花園地区の一部に避難指示発令（9月20日に解除）
- 安倍晋三首相が視察来町。被害状況などを及川町長、高橋はるみ知事らと話し合う

9月10日
- 町営温浴施設ぬくもりの湯が再開
- 大師ヶ丘公園に臨時集積場を開設。災害ごみ自己搬入受入れを開始
- 21時00分、胆振東部地震による犠牲者が全道で41名（厚真町36名、札幌市1名、苫小牧市2名、むかわ町1名、新ひだか町1名）に（北海道発表）

9月11日
- 16時00分、早来守田地区の一部、早来緑丘地区の一部に避難勧告発令（9月24日に解除）

9月12日
- 100名を超えるボランティアが集まる。23日には最大となる約400名が集まる

9月13日
- エリア放送で災害に関する

「あそびのひろば」での炊き出し

放送を開始
・「あそびのひろば」開催（9月28日まで）
・追分小学校、早来小学校、安平小学校、追分中学校の4校が再開。遠浅小学校、早来中学校（町民センターにて）は翌日14日より再開
9月14日・住家被害認定調査を開始
・断水の復旧率が50％を超える
9月15日・「広報あびら」号外1号を発行
9月16日・災害廃棄物（片付けごみ）排出処理が終了
9月18日・追分高校が授業を再開
・安平町内における停電が完全復旧する
9月19日・被災者生活再建支援法適用
9月22日・災害ごみ自宅前回収（9月24日まで）
9月23日・仮設住宅住民説明会を開催
9月25日・仮設住宅一期工事建設開始。早来地区12戸、追分地区8戸（10月29日完成。11月1日入居開始）
9月27日・臨時集積場を開設。家電4品目受入れを開始する
9月28日・「激甚災害」指定の閣議決定
9月29日・安平町内における断水が完全復旧する
9月30日・り災証明書の交付を開始
10月1日・遠浅公民館の利用再開
10月3日・高橋はるみ知事が視察来町

「広報あびら」号外1号

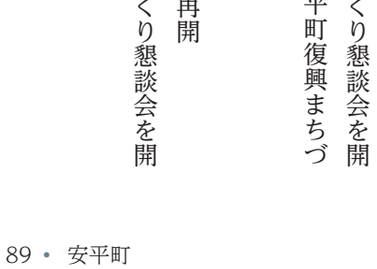
10月5日・第1次り災証明住家被害認定調査が終了
10月9日・佐藤嘉大教育長が追分高校、町民センターを視察来町
10月10日・復興・生活再建支援室を設置
10月11日・トレーラーハウスの内覧会が開催される
10月15日・災害ごみ自宅前回収（10月18日まで）
・自衛隊による災害支援活動が終了。修了式が開催される
10月16日・早来公民館図書館の利用が再開される
10月17日・山本順三防災担当大臣が視察来町
10月19日・早来中学校仮設校舎建設が着工
10月20日・仮設住宅抽選会の開催
10月21日・胆振東部秋季少年野球大会が遠浅公園にて開催される
10月24日・基礎支援金、加算支援金、応急修理の受付を開始
・仮設住宅2期工事建設開始。トレーラーハウス3台（12月5日完成）25日、早来地区5戸、追分地区5戸（11月19日完成）
10月26日・追分地区福祉仮設住宅建設開始（12月27日完成）
11月1日・地域おこし企業人交流プログラム開始
11月2日・株式会社ゼンリンと災害に関する協定を締結
11月5日・被災者支援制度等に関する冊子を発行および配布
・中学生を対象とした学習支援「あびら未来塾」を開始
・震災後、初となる町政懇談会を開催
11月6日・「安平町復興ボランティアセンター」設立
11月11日・「日本を元気に 出張居酒屋えぐざいるin安平町」が開催される

11月17日・「復興バザー」が開催される
11月22日・東京あびら会を設立
11月26日・衆議院議員団が視察来町
11月27日・追分地区の最後の避難所が閉鎖される
11月30日・早来地区最後の避難所が閉鎖される
12月3日・仮設住宅3期工事建設開始（トレーラーハウス4台）
（12月23日完成）
12月10日・義援金、一部損壊住家修理金の受付を開始
・自費解体、公費解体の受付を開始
12月22日・復興ボランティアセンターが「ハシゴ酒忘年会」を開催
12月27日・早来中学校仮設校舎の建設工事完了

【平成31・令和元（2019）年】

1月9日・学校法人リズム学園と災害時の協力に関する協定、復興活動の応援協力に関する協定を締結
1月15日・早来中学校仮設校舎で始業式が行われる
1月31日・一般社団法人日本自動車連盟札幌支部と観光協定締結
2月21日・21時22分、地震発生（震度5強 マグニチュード5・8）
2月26日・高橋はるみ知事が早来中学校仮設校舎を視察のため来町
3月7日・早来地区仮設店舗完成・鍵の引き渡し
3月12日・早来小学校で「8、000人の笑顔プロジェクト」の報告会が開催される
4月8日・「コミュニティ復興支援事業」を新設し募集開始
4月9日・「あびら復興加速実行委員会」設立
4月19日・道の駅あびらD51ステーション開業
5月8日・鈴木直道知事が視察来町
5月16日・公費解体工事開始。翌年3月25日まで
5月17日・復興まちづくりに関する「町民意向調査」を開始
5月18日・「あびら復興感謝フェス」を開催
6月1日・東京2020オリンピック聖火リレー北海道ルートに選出される
6月17日・復興まちづくり計画に係る町民まちづくり懇談会を開催（町内4地区にて）。12月19日、安平町復興まちづくり計画が策定される
6月25日・早来郷土資料館が再開
7月10日・スポーツセンターの温水プールが利用再開
8月5日・復興まちづくり計画に係る町民まちづくり懇談会を開催（町内4地区にて）
8月25日・ブラジル訪問・雪だるまプロジェクト
9月6日・復興祈念式典を開催

あびら復興感謝フェス（北海道新聞社提供）


早来中学校3学期始業式